

平成 21 年度当初予算 重点的な取組別概要
< 重点事業 >

元気 5 : 地域の資源を活用した産業振興 (主担当部 : 農水商工部)

< 重点事業の目標 >

地域経済の活性化をはかるためには、競争に打ち勝つ商品・サービスの高付加価値化・高度化のほか、それぞれの地域の人材、技術、伝統技術、特色ある農林水産品やものづくり基盤などの地域資源を活用した、多様な主体による地域の取組が必要とされてきています。

そこで、県内各地域の活力を維持発展させるため、それぞれの地域資源と地域の「知恵」・「やる気」を生かした活力ある地域産業の振興をはかります。

< 構成事業 (担当部) >

(1) オンリーワン企業育成プログラム事業 (農水商工部)

変更 (2) 伝統産業・地場産業活性化支援事業 (農水商工部)

(3) 中小企業の企業力向上再チャレンジ支援事業 (農水商工部)

(4) 中小企業等知的財産活用支援事業 (農水商工部)

(5) 地域特性を生かした産業誘致促進事業 (農水商工部)

(6) 地域資源ブランド化支援事業 (農水商工部)

新 (7) みえ農商工連携推進ファンド事業 (農水商工部)

(8) 地域資源価値創造・展開事業 (農水商工部)

(9) 地域産業振興方策実践支援事業 (農水商工部)

注 1 : 農林漁業者と商工業者の連携による新たな価値の創造を明確に位置づけるため、構成事業の見直し・再編を行っています。

注 2 : (2) は、既存事業を分割したことにより、「地域産業創出活性化事業」から変更しました。

新 は、新たに追加した事業です。

< 重点事業の事業費 >

(単位 : 千円)

		H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度
策定時の見込額	1	281,116	279,000	277,000	272,000
予算額等	2	223,100	442,352	2,912,057	

1 第二次戦略計画策定時における計画記載額。

2 H19 年度は決算額、H20 年度は予算現額、H21 年度は予算要求額

< 重点事業の数値目標 >

目標項目		H18 年度	H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度
県内中小企業のうち製造業の付加価値額の伸び率	目標値	-	102 (H18)	107 (H19)	109 (H20)	111 (H21)
	実績値	100 (H17)	105 (H18)			

民間製造業のうち中小企業 (従業員 4 ~ 299 人) の付加価値額の基準年 (平成 17 年度) を 100 とした場合の伸び率。平成 22 年度の目標値は、平成 23 年春に把握できる平成 21 年度の実績数値により測ることとします。

< 構成事業の目標 >

目標項目		H18 年度	H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度
(1)高度化計画策定企業数(累計)	目標値	-	217 社	267 社	317 社	362 社
	実績値	177 社	212 社			
(2)地域資源活用事業計画策定企業数(累計)	目標値	-	46 件	61 件	76 件	91 件
	実績値	31 件	52 件			
(3)経営革新承認企業数(累計)	目標値	-	430 社	470 社	510 社	550 社
	実績値	393 社	456 社			
(4)知的財産のマッチング件数(技術移転件数)(累計)	目標値	-	19 件	31 件	45 件	60 件
	実績値	9 件	17 件			
(5)県南部の条件不利地域への企業立地件数(累計)	目標値	-	2 件	4 件	5 件	6 件
	実績値	1 件	3 件			
(6)地域のブランドづくりを支援する品目数(累計)	目標値	-	5 品目	10 品目	15 品目	20 品目
	実績値	-	6 品目			
新(7)ファンドによる農工商連携創出数(累計)	目標値	-	-	-	2 件	5 件
	実績値	-	-			
(8)地域資源価値創造・展開のための技術開発件数(累計)	目標値	-	4 件	9 件	17 件	29 件
	実績値	-	4 件			
(9)地域産業振興方策による取組実践数(累計)	目標値	-	2 件	5 件	7 件	8 件
	実績値	-	2 件			

< 進捗状況(現状と課題) >

- ・技術開発等に意欲的に取り組む中小企業において、新たに 59 社の高度化計画策定を進めるとともに、技術力の向上、新商品の開発への支援や、産学連携の促進などに取り組んでいます。
- ・伝統工芸品産業や地場産業において、新たに 12 社の地域資源活用事業計画策定を進めるとともに、「人、技、伝統」などの資源を活用した新たな事業活動への支援に取り組んでいます。
- ・企業進出上の不利な条件を抱えると考えられる県南部地域については、当該地域の特性を活用した企業の誘致を進め、平成 19 年度に 2 社、平成 20 年度に 1 社の立地を促し、地域産業の活性化、雇用の場の確保をはかっています。
- ・ブランド化に成功した品目と事業者を適正に評価し、11 品目で 42 事業者のモデル的な取組を三重ブランドとして積極的に情報発信を行っています。
- ・農林水産物等を活用し商品化する上でのノウハウ・スキルを向上する人材育成プログラムを 20 事業者の参加のもとで取り組むとともに、ブランド化の素材となる地域資源として新たに 36 件の調査・評価を進めています。
- ・地域経済の活性化をはかるためには、競争力のある独自の製品や技術を持つ中小企業を育成していくとともに、技術、ノウハウ、素材など様々な資源を持つ多様な主体の連携を誘発し、それぞれの強みを発揮した新商品の開発や販路開拓を促進していくことが必要です。

< 平成 21 年度の取組方向 >

ものづくり中小企業の高度化・高付加価値化の促進や伝統産業・地場産業の育成を行うとともに、中小企業の企業力向上に向けた総合的な支援を行います。

県南部等条件の不利な地域においては、市町が行う産業用地の整備を支援するとともに、地域の特性を生かした産業の誘致活動などに取り組みます。

農林水産物などの地域資源を活用した新商品開発等の支援や人材育成、首都圏などを視野においた市場開拓など、農林漁業者と商工業者の連携を誘発し、新たな着眼により創意工夫を生かした特色ある商品やサービスの創出を促進するバリューチェーンの構築に向けた取組を進めます。

<主な事業>

(一部新) オンリーワン企業育成プログラム事業

【基本事業名：23201 ものづくり産業の高度化】(事業(1))

予算額：(20) 74,144千円 (21) 76,255千円

事業概要：退職人材に加え、民間の専門家を活用して、中小企業の事業戦略の策定や課題解決を支援するとともに、新たに工業研究所等の知見や技術を最大限に活用した取組を進めるなど、オンリーワンをめざす企業が行う新商品・新技術の研究開発を促進します。

伝統産業・地場産業活性化支援事業【基本事業名：23202 地域産業の活性化】(事業(2))

予算額：(20) 21,886千円 (21) 19,222千円

事業概要：地場産業や伝統産業など地域に基盤を持つ産業の活性化をはかるため、関係事業者等の技術力やデザイン力の向上による製品の高付加価値化、販路開拓、人材育成等の取組を支援します。

県南部への産業誘致対策事業【基本事業名：23206 地域資源を生かした産業誘致】(事業(5))

予算額：(20) 179,033千円 (21) 332,225千円

事業概要：県南部等の企業進出上の条件が不利な地域において、関係市町が行う産業用地の整備を支援します。また、企業誘致補助金を活用して、地域資源を生かした企業誘致を行い、地域産業を活性化し、雇用の場の確保をはかります。

地域資源ブランド化支援事業

【基本事業名：22202 農林水産資源のブランド化の推進】(事業(6)の一部)

予算額：(20) 68,981千円 (21) 65,536千円

事業概要：地域に埋もれている農林水産物を発掘・再評価し、新たなビジネスシーズとして情報発信するとともに、地域資源を活用し、高付加価値化を戦略的に展開する人材を育成します。また、ブランド化に成功した県産品及び事業者を「三重ブランド」として認定するとともに県内外に情報発信します。

(重点新) 首都圏・海外市場開拓支援事業

【基本事業名：22202 農林水産資源のブランド化の推進】(事業(6)の一部)

予算額：(20) - 千円(40,921千円) (21) 32,532千円

事業概要：首都圏に三重県産品市場開拓スーパーバイザーを配置して、マッチング支援や高付加価値化支援に取り組むとともに、食品関係の展示商談会などに出席し、首都圏等での県産農林水産物等の市場開拓に取り組みます。また、首都圏における県産品の流通機能向上に向けて取り組みます。

(新) みえ農商工連携推進ファンド事業

【基本事業名：23202 地域産業の活性化】(事業(7)の一部)

予算額：(20) - 千円 (21) 2,303,000千円

事業概要：中小企業者と農林漁業者が有機的に連携して行う新商品・新サービスの開発等を促進するため「みえ農商工連携推進ファンド」を組成し、農商工連携体による新たな着眼での創意工夫を生かした取組や、公設試験研究機関を活用した技術開発やデザイン力の向上などの取組を支援します。